

佐渡金銀山

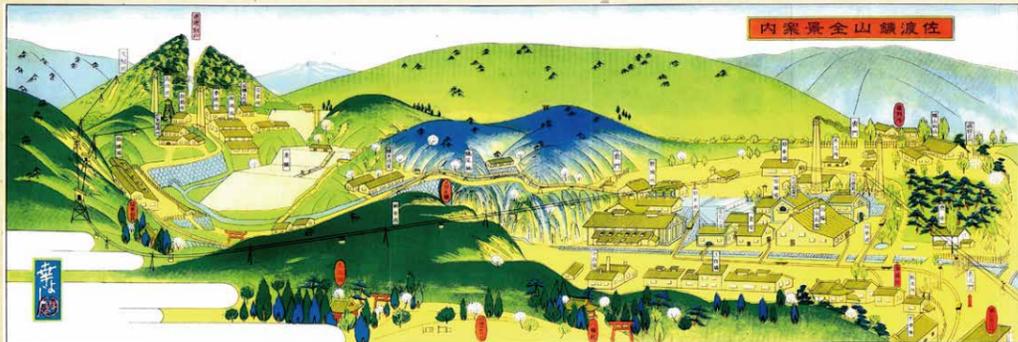
H30年 世界文化遺産登録を目指して

7月28日、国の文化審議会から、平成29年の世界文化遺産登録の候補地として、福岡県の「宗像・沖ノ島と関連遺産群」を推薦することが発表されました。これにより、佐渡金銀山の平成29年の登録は見送られることとなりましたが、次の平成30年の登録を目指し、新潟県と佐渡市は引き続き取り組みを進めていきます。

今年3月には、世界遺産登録に必要な「推薦書」の原案を国へ提出し、佐渡金銀山の世界遺産登録にむけた約20年にわたる活動も、ようやく大きな局面を迎えようとしています。

今号の「あいかわらばん」では、佐渡金銀山の世界遺産登録にむけた、これまでの取り組みや今後の計画を、遺産の保護や整備に関する事柄を中心にご報告します。

(2・3面へ)



「佐渡鉱山全景案内」(昭和7年 相川郷土博物館所蔵)

相川 あいかわらばん 第17号

2015年9月25日発行
 発行：佐渡市世界遺産推進課
 電話 0259-63-5136
 FAX 0259-63-6130
 編集：佐渡市世界遺産推進課
 新潟県教育庁文化行政課
 世界遺産登録推進室

今年6月、相川市街地の重要な文化的景観(国の文化財)への選定を、国の諮問機関が答申しました。これにより、今年秋ごろ、正式に、相川市街地の景観が国の文化財となります。

相川地区国重要文化的景観の選定答申

重要文化的景観選定記念シンポジウム開催

今年11月1日(日)、相川地区が重要文化的景観に選定されることを記念したシンポジウムを、「国史跡佐渡奉行所跡」にて開催します。東京大学名誉教授・篠原修先生や長岡造形大学教授・木村勉先生に、相川の歴史的な景観についてお話しいただくほか、世界遺産や相川に関連した展示なども企画しています。

シンポジウム当日には、「佐渡金銀山世界遺産登録祈念茶会」も同会場で開催されます。9月中旬に、詳細を示した宣伝ポスターやチラシを市内に掲示、配布予定です。

大勢の皆さまのあ越しをお待ちしております。



相川の今昔

「佐渡新聞」から近代の相川を見る

明治30年、森知幾によって創刊された「佐渡新聞」をご存じでしょうか。佐渡で最初の本格的な新聞で、最盛期には発行部数が2,000部に達し、昭和15年の廃刊まで約43年にわたって発行されました。

森知幾は相川下戸炭屋浜町の生まれで、「佐渡新聞」の発行所は相川下町にありました。

新聞には、佐渡鉱山ストライキの記事など、佐渡鉱山や相川に関する記事をはじめ、島内各所で起きた出来事が記されています。近代化される島の大変貴重な資料のひとつです。



↑「佐渡新聞」(明治32年1月15日)抜粋

「佐渡新聞」(明治32年1月15日)

※新潟県立文書館所蔵のマイクロフィルムを複製したものが佐渡市立中央図書館に所蔵されている

世界遺産推進課 10月のおもなイベント予定

佐渡金銀山に関連したイベント予定をお知らせします。

	イベント名	開催日時	会場	備考
講演会	世界遺産国際シンポジウム「佐渡金銀山の価値を世界へ」	10月18日(日) 13:00~17:00	イイノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区内幸町2丁目1-1)	入場無料/要事前申込(先着500名)/パトリック・マーチン氏(国際産業遺産保存委員会会長)、西村幸夫氏(日本イコモス国内委員会委員長)による基調講演ほか
現地見学	親子で歩く佐渡金銀山[相川編]	10月4日(日) 9:00~12:00	相川金銀山	参加無料/要事前申込/定員になり次第締切
	佐渡金銀山現地ツアー(第2回)	10月24日(土) 9:00~12:00	西三川砂金山	参加無料/要事前申込/定員になり次第締切

申込み先・問い合わせ窓口 ①国際シンポジウム:新潟県文化行政課 世界遺産登録推進室(電話025-280-5726)
 ②そのほかイベント:佐渡市世界遺産推進課 登録推進係(電話0259-63-5136)

見覚えある足跡だにやー

実はにゃんじーの足跡

第18号の予告

◆活動報告 ほか

次回11月25日 刊行予定

今月のにゃんじー

もうすっかり秋ですね。にゃんじーは「読書の秋」のようです。ミステリー小説がマイブームで、気分は「名探偵にゃんじー」です。奥深い佐渡の魅力を探求中です。

取組み紹介

～遺産を守って活かす～



地元説明会(平成26年)



案内誘導看板の設置を検討(平成27年)

景観

①調べる

文献資料や現地調査により、鉾山町の歴史や景観の特徴を明らかにします。
例 H 20～22 西三川文化的景観保存調査 / H 22～25 相川文化的景観保存調査

②守る活かす

特徴的な建物や構造物、河川、小路等を一体的に守ることで鉾山町の景観を継承していきます。また、景観の特徴を知らせるための案内誘導看板なども設置します。



担当 ヤマグチ

鉾山町の歴史ある景観を維持・継承していくための仕組みづくりに取り組んでいます。



上相川地区の調査(平成27年)



専門家視察(平成27年)

遺跡

①調べる

発掘調査や文献資料などの記録類の分析を、継続しておこなっています。
例 H 25 鶴子荒町遺跡発掘調査(江戸時代初めの銀製錬炉を発見) / H 26 西三川砂金山跡発掘調査 / H 27 上相川地区分布調査(江戸時代に山師が暮らした場所や製錬所跡の調査)

②守る活かす

遺跡を保護しつつ、見学者にもその価値が伝わるように公開するには、どのような方法がふさわしいのか、専門家のアドバイスをもとに計画づくりをしています。



担当 アイバ

現在は、初期鉾山町の上相川地区に残された地形や道具、石造物の分布状況を調べています。

その他

◆海外専門家の評価

これまでヨーロッパやアジア各国の専門家が佐渡を視察し、アドバイスをいただきました。

◆価値を知らせる取組み

イベント開催(見学会、講演会、清掃活動など)、パンフレットや報告書の発行など

◆世界遺産登録までのスケジュール(最短)

平成28年 国内推薦決定
平成29年 推薦書をユネスコに提出・海外専門家による現地調査
平成30年 世界遺産登録
(ユネスコ世界遺産委員会にて登録を決定)

遺跡、建造物、景観の調査成果から、佐渡金銀山の価値や魅力を総合的に分析し、明らかにしていきます。



探検家 にゃんじー

建造物

①調べる

建物の歴史や傷みの度合いなどを調査し、修理方針を定めていきます。
例 H 15～19 旧佐渡鉾山近代化遺産建造物群調査 / H 22～鉾山町の木造家屋調査

②守る活かす

鉾山に関連した建物は、木造、レンガ造、鉄筋コンクリート造などさまざまで、それぞれに合った保護や管理を図っています。また、修理した建物を公開するなどの活用も順次進めていきます。



専門家視察(平成25年)



鉾山社宅の調査(平成27年)



担当 ウサミ

建物調査を通して佐渡鉾山がどのように発展していったのか、その歴史を明らかにしていきます。